

日本学術会議 電気電子工学委員会
URSI分科会 医用生体電磁気学小委員会(K小委員会)
第25期 第2回

議事録

日時:2021年 11月 12日(木) 15:00- 17:00

場所:オンライン(Webex、主催会場:NICT電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室)

出席者:

第25期 URSI-K 国内小委員会委員:

渡辺聡一(NICT:委員長)、中園聡(電中研:副委員長)、齊藤一幸(千葉大:幹事)、関野正樹(東大:幹事)、長岡智明(NICT:副幹事)、吉江幸子(鉄道総研:副幹事)、幾代美和(NICT:幹事補佐)、齋藤淳史(電中研:幹事補佐)、河野隆二(横国大)、伊藤公一(千葉大)、池畑政輝(鉄道総研)、上野照剛(東大)、牛山明(科学院)、王建青(名工大)、上村佳嗣(宇都宮大)、黒田輝(東海大)、佐々木謙介(NICT)、清水久恵(北海道科学大)、多氣昌生(都立大)、田畑仁(東大)、平田晃正(名工大)、藤原修(電通大)、増田宏(久留米大)、松井康人(京大)、松木英敏(東北大)、山崎健一(電中研)、

医用生体電磁気学研究会会員(陪席):

大久保千代次(JEIC)、鈴木敬久(都立大)、大西輝夫(NICT)、安在大祐(名工大)、清水悠斗(NICT)、椎名健雄(電中研)、宮城浩明(HM リサーチ&コンサルティング)、日景隆(北大)

議題:

1. URSI-K 国内委員会第25期第1回委員会(2022年4月22日)議事録確認
2. 日本学術会議 URSI 分科会の報告
3. Commission Coordinating Activities Meeting の概要報告
4. URSI 旗艦会議と Commission K 関連国際会議との関係について
5. URSI GASS 2023, AT-AP-RASC 2022, BioEM 2022 の準備状況ほか
6. 関連学会・会合に関する報告
7. その他

配布資料:

- 25-2-1: 第 25 期第 1 回_URSI-K 小委員会_議事録(案)
- 25-2-2-01: 第 25 期・第 2 回 URSI 分科会(210806)議事次第
- 25-2-2-02: National report COMMISSION K(案)
- 25-2-2-03: URSI 分科会メール報告(第 25 期・第 5 回): 2022 年 URSI 日本電波科学会議(URSI-JRSM 2022)会期・会場の決定について
- 25-2-2-04: URSI 分科会メール報告(第 25 期・第 6 回): 2021 年 URSI Board 選挙の結果について
- 25-2-2-05: URSI 分科会メール報告(第 25 期・第 7 回): 2021 年 URSI Commission 選挙の結果について
- 25-2-2-06: 資料 1_URSI GASS 2026 プロポーザル(ポーランド・クラクフ)
- 25-2-2-07: 第 25 期・第 2 回 URSI 分科会(210806)議事要旨
- 25-2-2-08-01: 資料 1_(事務連絡)国際学術団体の活動状況に関する調査の実施
- 25-2-2-08-02: 資料 2-1_加入国際学術団体に関する調査票(URSI 分科会)
- 25-2-2-08-03: 資料 2-2_加入国際学術団体に関する概要紙(URSI 分科会)
- 25-2-2-09: URSI GASS 2023 国際会議計画趣意書(本文、別紙 1~5)
- 25-2-3: GASS2021Report_Commission_K
- 25-2-4: URSI Com-K TAC List
- 25-2-5: AT-AP-RASC2022 準備状況
- 25-2-6: CFP IEEE IMBioc2022
- 25-2-7: 論文誌案内(RSL - Flyer)

議事内容:

- 議題1: 前回議事録確認
 - ・ 齊藤幹事より、説明があり承認された。

- 議題2: 日本学術会議URSI 分科会の報告
 - ・ 渡辺委員長より、資料に基づいて説明があった。
 - ・ URSI-JRSM2022(9/1-2, 2022, 東京)の開催地・開催日決定について説明があり、委員への協力要請があった。
 - ・ 2026 URSI GASSの開催地がポーランドに決まった旨の報告があった(候補地が1箇所で行先決定)。

・2023 URSI GASS (8/19-26,2022, 札幌)について、助成金申請開始など、準備状況の紹介がなされた。

■ 議題3： Commission Coordinating Activities Meeting の概要報告

- ・伊藤委員(URSI Com. K, Chair)より、資料に基づいて説明があった。
- ・資料はコミッションレポートとしてホームページで公開されている。
- ・Vice-Chair: Prof. Francesca Apollonio (Sapienza University of Rome, Italy)、K-ECR: Dr. Emily Porter (University of Texas at Austin, USA)が選出された。2期目のECRとして佐々木委員(NICT)が決定している。
- ・Terms of reference(所掌範囲)について、前回改定が2008年であり古いため今後見直しに向けて議論されることが紹介された。
- ・Commission Kとして、AT-AP-RASCやGASS以外の会議のサポートも今後検討される。
- ・2022 IEEE MTT-S IMBioC(5/16-18, 2022, 蘇州(中国))やBioEM2022(6/19-24, 2022, 名古屋)に対する論文投稿など協力要請があった。一方で、国際会議間で投稿論文の取り合いになっている現状があり、今後調整が必要と考えられる。

■ 議題4： URSI 旗艦会議とCommission K 関連国際会議との関係について

- ・伊藤委員より、説明があった。
- ・議題3の最後の項目で紹介した例のように、関連する会議の日程が近い、テーマが近いなどの問題があり、今後、事前に日程を調整するなど検討が望まれる。

■ 議題5： URSI GASS 2023, AT-AP-RASC 2022, BioEM 2022 の準備状況ほか

- ・佐々木委員より、AT-AP-RASC2022(ハイブリッド開催、5/29-6/3, グラン・カナリア島(スペイン))のCommission-Kセッション構成の紹介、URSI 100 Years of the International Union of Radio Science、URSI出版物などについて説明があった。
- ・AT-AP-RASC2022会期中にCommission K coordination activities meetingが開催予定。
- ・王委員より、BioEM2022準備状況について説明があった。開催日、会場、実行委員会構成はすでに決定し、ホームページも開いている。ハイブリッド形式での開催を予定している。助成金申請も開始している。

■ 議題6： 関連学会・会合に関する報告

- ・中園副委員長より、BEMSとEBEAの合併に関する情報提供があった。法的な手続きの確認がなされ、BEMSとEBEAの合併が決定した。BioEMの名称は正式名称として維持される見込

み。なお、合併時期は未定であり、BEMSの解散に関わる準備状況によっては時間を要する可能性がある。

■ 議題7: その他

・山崎委員より、電気学会の電磁環境技術委員会における調査専門委員会について情報提供があった。

・河野委員より、医療用ボディアエリアネットワーク国際標準(IEEE 802.15.6-2012、NICTより提案&2012年成立)の状況について情報提供があった。現在、アップデート、アmendメント作成が進行中で、そこでは従来の人体用デバイスなどに加え、車体(ボディ)を対象としたデバイスについての技術要件なども検討されている。これらにつきISMICT2022 ISMICT(IEEE Medical ICTに関する国際会議)(5/2-4, 2022, リンカーン(米国・ネブラスカ州))にてセッションを予定。

・牛山委員より、WHO 環境保健クライテリア RF モノグラフのタスクグループメンバーの公募について情報提供があり、日本からの積極的な委員応募について要請があった。

以上